

## 令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2	学年・学科	2学年・E科
教科書	文部科学省「森林科学」		副教材				

学習目標	<p>○森林科学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにします。</p> <p>○森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。</p> <p>○森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ共同的に取り組む態度を養います。</p>
学習方法	<p>○森林の分類について学びます。</p> <p>○樹木と光、水、土壌、生物等環境とのかかわりを学びます。</p> <p>○樹木の分類方法を学びます。</p>

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学習評価	a 知識・技能	森林の定義、森林の分類、樹木の携帯と構造、環境との関りについて理解している。樹木の識別ができる。	前期中間	40 %	30	10
			前期末	40 %	30	10
			後期中間	40 %	30	10
			後期末	40 %	30	10
	b 思考・判断・表現	森林の構造と環境問題とのかかわりについて化学的、論理的に考えることができる。	前期中間	30 %	15	15
			前期末	30 %	15	15
			後期中間	30 %	15	15
			後期末	30 %	15	15
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	樹木をはじめとする森林の構造に対して興味関心を持ち、よく観察している。	前期中間	30 %	15	15
			前期末	30 %	15	15
			後期中間	30 %	15	15
			後期末	30 %	15	15

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1節 森林の定義と分類 第1 森林の定義	森林の定義について学びます。	○		○	a: 森林の定義や分類についてよく理解している。 b: 森林の分類について基準により判断することができる。 c: 森林の定義や分類について興味関心を持ち、よく観察している。	・授業ノート ・字実習態度 ・実習レポート ・定期調査
		森林の分類について学びます。	○	○	○		

前期末	第2節 樹木の特性 第1 樹木の携帯と内部構造	主な樹種の枝葉の採取・観察	○	○	a: 枝葉の形態印鑑する知識が身につき、検索の観点を理解している。 b: 樹木の生活形や樹種名を判断することができる。 c: 樹木の枝葉の形態について関心を持ち、よく観察している。	・標本作製 ・実習態度 ・実習レポート ・定期考査
		枝葉の形態の分類について学びます。	○	○		
		校内の樹木による標本作製、樹種検索演習を行います。	○	○		
後期中間	第3 樹木の識別と日本の樹木	日本の森林帯とその成立要因について学びます。	○	○	a: 拉致から曲宗麟にいたる植生の変化についての知識を身に付けている。 b: 日本と世界の森林帯とその分布傾向について知講師、地域特性による代表種を判断することができる。 c: 樹木の識別について興味関心を持ち、よく観察している。	・標本作製 ・実習態度 ・実習レポート ・定期考査
		日本の主な樹木について学びます。	○	○		
		時系列による森林と環境の変化について学びます。	○	○		
後期末	第3節 森林の立地環境 第1 気象因子	・温量指数と森林分布、水の樹木体内での動き、森林の温度調節、湿度調節の働きについて学びます。	○		a: 樹木を取り巻く自然環境の要因について知識を身に付けている。 b: 温量指数の計算と成立する森林との関係や、樹木の水消費量を産シユルすることができる。 c: 樹木と自然環境との関係について興味関心を持ち、よく観察している。	・実習態度 ・実習レポート ・定期考査
		光の強さと光合成量、光補償点の意味、陰樹陽樹、光と樹木の形態について学びます。		○		
	第2土地因子	土壌を採取し、その成分分析を行います。	○	○		
	樹木の生育と土壌の関係について学びます。	○	○			